



2021年第1四半期 決算説明会

株式会社ブリヂストン

2021年5月17日

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

1. 2021年第1四半期 連結業績 …… 2
2. 2021年 通期見通しについて …… 13

1. 2021年第1四半期 連結業績

2021年第1四半期の業績概要と主な取り組み

第1四半期 業績概要

- グローバルのタイヤ需要が回復する中、TBを中心に販売を伸ばし対前年増収増益。
- 利益面では、売値とMixの強化、経費・コスト構造改革の効果が大きく寄与し、調整後営業利益率は10%超まで回復。
- 汎用領域を戦略的に削減しつつ、プレミアム領域の販売を強化。今後のトップライン向上に向け、プレミアム領域の更なる販売拡大を図る。

- PS/LT
- 補修用／新車用ともに高インチタイヤを中心に販売を拡大。－PSR HRD販売：対前年117%、うち補修用のみ122%
 - 補修用：他社値上げ前需要などの影響を受け、北米で対前年販売減となったが、4月より挽回に入っている。
 - 新車用：半導体不足による影響を受けながらも、1Qは対前年販売増。2Q以降の半導体影響には注視が必要。

- TB
- 堅調な建設需要／運送需要に支えられ、補修用・新車用ともに大きく販売回復。
 - 特に、補修用販売は、米欧を中心にCOVID-19拡大前の2019年レベルを上回る水準まで回復し、その強さが際立つ。

- ORR
- 鉱山用タイヤ：鉱物需要増を背景に、昨年後半に比べて回復基調に転じつつあるが、まだ戻りが弱い。
 - 建設用タイヤ：北米の建設需要好調により新車用が大きく回復。補修用では、大型は堅調も、中小型は対前年やや販売減。

中期事業計画に基づく、第1四半期の主な取り組み

- 「プレミアム販売強化」：販売Mixの改善 – 高インチタイヤ販売比率の向上、メジャーブランドへの集中。
価格マネジメント強化 – 原材料価格上昇への対応、断トツ商品をベースとした戦略的価格マネジメント強化。
- 「経費・コスト構造改革」：生産現場改善 – モノづくり現場強化による生産性向上、既存設備最大活用による加工費改善（1Q:+60億円）。
事業再編/生産拠点再編 – 米国 建築資材事業 売却完了（3月末）、仏・ベチューン工場閉鎖（4月末）など。
- 「戦略的成長投資」：鉱山タイヤ・ソリューション事業 – 下関工場刷新、豪州Otraco社買収を発表（4月）。

2021年第1四半期 事業環境／タイヤ需要



為替

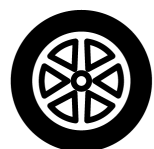
- USDは前年比円高、EURは前年比円安で推移

1USD=106円 1EUR=128円 (参考) 20年第1四半期 1USD=109円 1EUR=120円



原材料

- 天然ゴム相場は、大きく上昇した前年4Qに引き続き高値圏での推移。
- 原油相場は、21年に入り大幅に上昇。



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- PS新車用で半導体影響あるも、グローバル全体での需要回復基調が継続。
- 特にTB需要が強く、米欧の補修用は2019年を大きく上回る水準となった。

相場動向（平均価格）推移

※Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

	2020年				2021年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
天然ゴム 〈TSR20〉※ (¢/kg)	133	111	128	154	167
天然ゴム 〈RSS#3〉※ (¢/kg)	158	138	175	235	234
原油 〈WTI〉 (\$/bbl)	46	28	41	43	58

2021年第1四半期 タイヤ需要（本数 対前年・対19年）

	当社推定値				TBR			
	PSR		TBR		PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP	OE	REP	OE	REP
	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年
日本	96%	90%	108%	97%	109%	109%	104%	95%
北米	101%	84%	111%	101%	109%	86%	114%	117%
欧州	103%	88%	112%	95%	121%	92%	122%	108%

2021年第1四半期 タイヤ販売本数：対前年



PSR/LTR

グローバル	107%
-------	------

新車用タイヤ (OE)

グローバル	105%
-------	------

日本	94%
----	-----

北米	109%
----	------

欧州	95%
----	-----

中国・アジア・大洋州	123%
------------	------

補修用タイヤ (REP)

グローバル	108%
-------	------

日本	108%
----	------

北米	96%
----	-----

欧州	107%
----	------

中国・アジア・大洋州	118%
------------	------



TBR

グローバル	112%
-------	------

新車用タイヤ (OE)

グローバル	115%
-------	------

日本	113%
----	------

北米	105%
----	------

欧州	121%
----	------

中国・アジア・大洋州	155%
------------	------

補修用タイヤ (REP)

グローバル	111%
-------	------

日本	101%
----	------

北米	111%
----	------

欧州	118%
----	------

中国・アジア・大洋州	126%
------------	------



ORR

超大型(REPのみ)	95%
------------	-----

大型	116%
----	------

OE	150%
----	------

REP	108%
-----	------

中小型	107%
-----	------

OE	125%
----	------

REP	97%
-----	-----



PSR 18インチ以上

グローバル	117%
-------	------

(REP)	(122%)
-------	--------

2021年第1四半期 連結業績

(単位：億円)

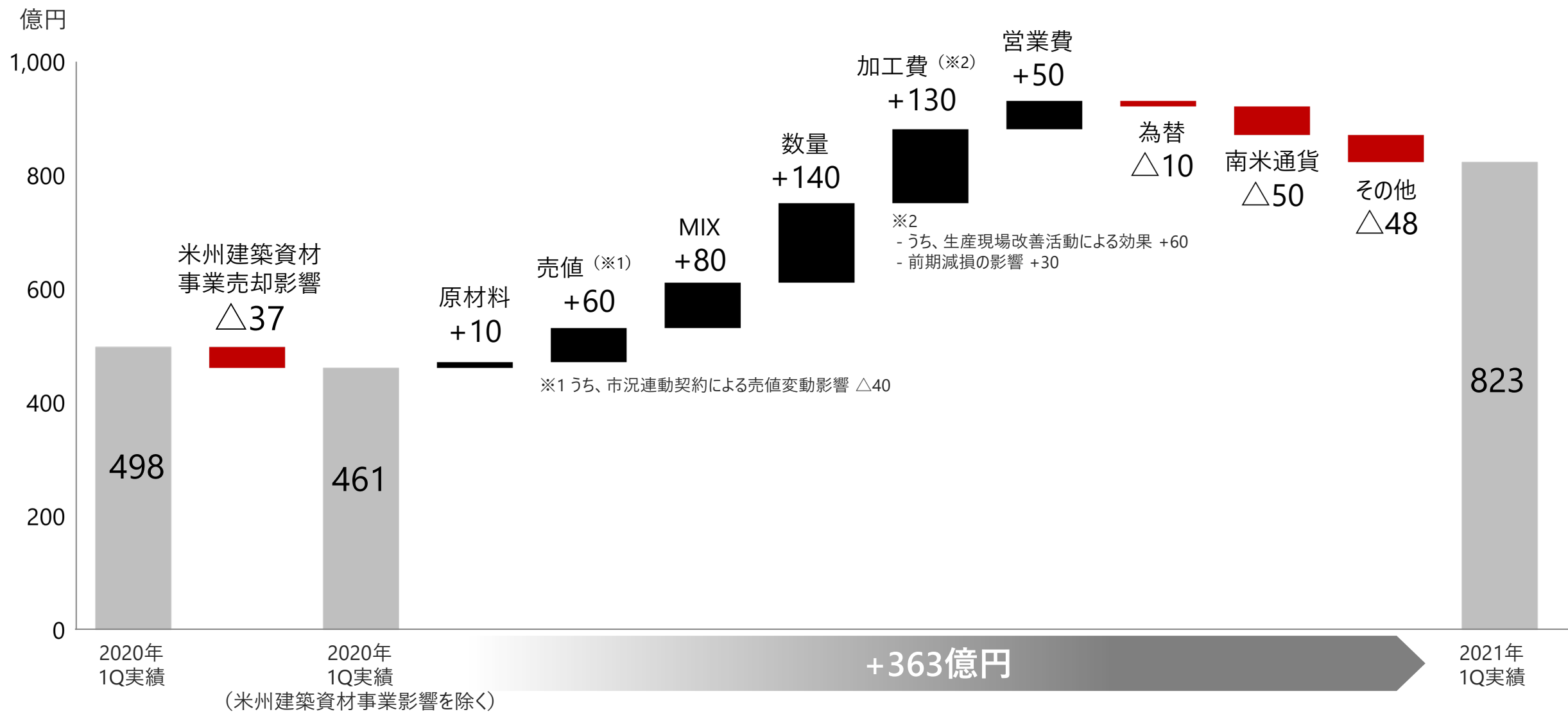
IFRS	2020年第1四半期 実績		2021年 第1四半期 実績 (注1)	対前年増減率 (%) (注2)
	昨年開示実績	米州建築資材事業を 「非継続事業」に組み替えた実績 (注1)		
売上収益	7,522	7,058	7,569	+7
調整後営業利益	498	461	823	+79
利益率	6.6%	6.5%	10.9%	+4.3pp
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	195	195	2,852	-
-うち継続事業	195	168	603	+259
-うち非継続事業	-	27	2,250	-
USドル	109円	109円	106円	△3円
ユーロ	120円	120円	128円	+8円

(注1) FIRESTONE BUILDING PRODUCTS (FSBP) の売却決定に伴い、当第1四半期連結会計期間よりFSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類しております (詳細はP.12参照)。

これに伴い、2021年の売上収益、調整後営業利益は、FSBPに関する収益・費用を除いた「継続事業」のみの金額となります。なお、対応する前年同期についても同様に組み替えて表示しております。

(注2) 前年比増減の算定に使用した2020年実績は、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に組み替えた金額です。

2021年第1四半期 調整後営業利益増減要因：前年差



2021年第1四半期 セグメント別業績

(単位：億円)

IFRS		2020年 第1四半期実績	(注)	2021年 第1四半期実績	対前年増減率 (%)
連結	売上収益	7,058		7,569	+7
	日本	2,243		2,256	+1
	米州	3,013		3,110	+3
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	1,377		1,639	+19
	中国・アジア・大洋州	757		917	+21
連結	調整後営業利益	461		823	+79
	日本	156		187	+20
	米州	277		384	+38
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	△26		81	-
	中国・アジア・大洋州	60		129	+115

(注) 2/16公表の決算説明会スライドに記載の通り、当社は新KPIとしてROICを導入したことに伴い、2021年より開示セグメント業績の算出方法を一部変更いたしました。

なお、対応する前年同期についても同様に組み替えて表示しております。

また、P.6に記載しております通り、これはFSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類し、組み替えた数値です。

2021年第1四半期 タイヤ事業 財別業績

(単位：億円)

IFRS

2020年
第1四半期実績

2021年
第1四半期実績

対前年増減率 (%)



PS/LT

※小売・クレジットカード事業を含む

	2020年 第1四半期実績	2021年 第1四半期実績	対前年増減率 (%)
売上収益	3,584	3,866	+8
調整後営業利益	213	552	+159
利益率	6.0%	14.3%	+8.3pp



TB

※リトレッド事業を含む

	2020年 第1四半期実績	2021年 第1四半期実績	対前年増減率 (%)
売上収益	1,656	1,781	+8
調整後営業利益	139	208	+50
利益率	8.4%	11.7%	+3.3pp

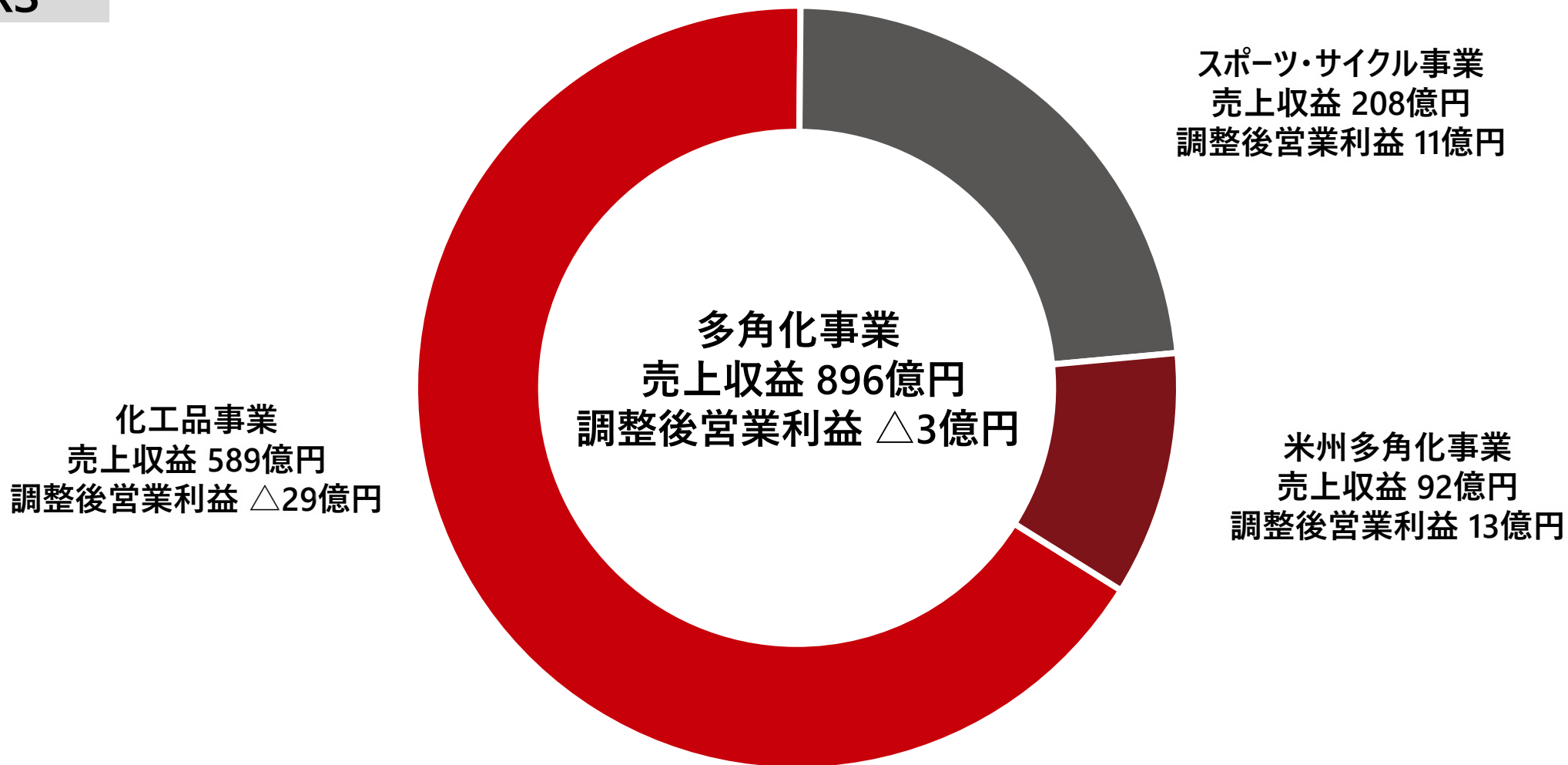


Specialties
(OR/AC/AG/MC)

	2020年 第1四半期実績	2021年 第1四半期実績	対前年増減率 (%)
売上収益	850	870	+2
調整後営業利益	149	171	+15
利益率	17.5%	19.6%	+2.1pp

2021年第1四半期 多角化事業 業績

IFRS



2021年第1四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

(単位：億円)

IFRS	2020年 期末実績	2021年 第1四半期期末実績	対前年末
	資産合計	41,893	45,961
資本合計	21,953	25,481	+3,528
親会社所有者帰属持分比率	51.3%	54.4%	+3.1pp
有利子負債〈ネット〉	1,956	△1,651	△3,607
	2020年 第1四半期累計実績	2021年 第1四半期累計実績	対前年同期
営業CF	641	909	+268
投資CF	△593	2,898	+3,491
フリーCF	48	3,807	+3,759
設備投資	531	372	△158
減価償却費及び償却費	669	615	△54

2021年第1四半期「調整項目」及び「非継続事業からの四半期利益」について

2021年 第1四半期 実績

(単位：億円)

売上収益	7,569
調整後営業利益	823
調整項目（費用）	14
営業利益	809
税引前四半期利益	816
継続事業からの四半期利益 (注)	603
非継続事業からの四半期利益 (注)	2,250
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,852

(注)「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を記載しております。

1) 調整項目

(単位：億円)

調整項目（費用）	14	主な内容
事業・工場再編費用	12	海外工場の閉鎖・再編関連費用
災害損失	2	北米でのハリケーン災害に関する損失

2) 非継続事業からの四半期利益

- 当社は3月31日付でFIRESTONE BUILDING PRODUCTS (FSBP) の売却を完了しました。当第1四半期より、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類します。
- これに伴い、当第1四半期において、下記①、②の合計 2,250億円を「非継続事業からの四半期利益」として計上しました。

① FSBPを譲渡したことによる売却益

② 1月～3月の3か月間において、同事業により発生した四半期利益

2. 2021年 通期見通しについて

2021年 通期見通しについて

通期の事業環境／タイヤ需要見通し



為替

- USD：2月発表の計画想定(103円)対比、円安水準での推移を見込む。
- EUR：2月発表の計画想定 (126円)対比、概ね同水準での推移を見込む。



原材料

- 天然ゴム・原油ともに、第1四半期に引き続き、年間を通して高値圏での推移を想定。



タイヤ需要

- グローバルでの回復基調継続により、前年からの堅調な需要増加を見込む。
- PS/LT、TBともに、通期で2019年に近いレベルまでの需要回復を想定。

COVID-19感染再拡大のリスクについて

- 第1四半期は各国で感染対策と経済活動の両立が進められ、世界経済の持ち直しの動きが継続しましたが、依然として、変異株の拡大など、COVID-19感染拡大収束が見通せない状況下、通期業績への影響を慎重に注視しております。
- 引き続き、従業員・お客様・関係者の生命と安全を最優先とし、COVID-19感染リスクを最小限に抑えながら営業活動を行ってまいります。

通期業績予想について

- 現時点では、2021年通期業績予想について、2021年2月に発表した内容から変更はありません。
- 今後の事業環境や当社業績の推移を踏まえ、業績予想に変更が出る場合は、その時点で速やかに開示致します。



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。